

風街タヤけマルシェ事務局長
安田 昌博さん・48歳（六供町二丁目）

にぎわいと巡り合いを生み出す場へ

平日の夕方、中心商店街で開催される風街タヤけマルシェ（関連記事は本紙26ページ）。

「土日のまちなかはイベントなどで盛り上がっているものの、人通りの少ない平日の夕方も盛り上げようと前橋中心商店街協同組合主催で始まったイベント。アイデアを出し合い、テーマによって開催場所を変えて実施しています」と安田さん。

昨年6月にスタートし、1周年を迎えた。記念イベントには商店街の店舗のほか、料理や雑貨、ワークショップなど100を超える店舗が出店。ラグビー元日本代表・堀江翔太さんとのコラボ企画なども実施し、過去最大規模での開催となった。

「出店者は当初より増えてきています。商店街とのつながりを楽しんでいる様子も見られ、一緒にまちなかを盛り上げたい気持ちの人が多く感じています」と話す。

最近では円弧型のバーカウンターを待ち合わせや飲食店へ行く前にふらっと立ち寄る場所として、訪



れる人が増えているという。

「このマルシェをきっかけに商店街を回遊する人が増えてきています。毎週開催し続けることで、多くの人に認知してもらい、飲食だけでなく、人と人とのつながりや出会いなど、巡り合いを生み出す場所になればうれしい。コラボ企画や新テーマでの開催もしたいです」と話す。

安田さんは今後も夕暮れ時のまちなかを盛り上げていく。

CITY フォーカス

本市のイベントや
事業などを紹介

市街地を彩る七夕飾り

7月10日から12日まで、前橋七夕まつりを開催。趣向を凝らしたカラフルな七夕飾りが中心市街地を彩りました。古着を加工した短冊が飾られたロボットも登場。スタンプラリーやワークショップ、カラオケステージなども開催され、家族連れや友人同士など多くの来場者でにぎわいました。



本市の農業を紹介するこのコーナー。
今回は本市伝統野菜の JA 前橋市青年部協議会を紹介します。

channel 28 JA前橋市青年部協議会

☎ 農政課
☎ 027-898-5841

JA前橋市青年部協議会は、JA前橋市の組織で原則50歳以下の組合員で構成。現在は61人が参加しています。

同協議会の主な活動は2つ。1つは食育推進活動です。グループホームへ野菜を寄付したり、市内の幼稚園や小学校と連携して収穫体験をしたりしています。幼稚園児が収穫体験する野菜は、ジャガイモやサツマイモ、タマネギ、カブの4種類。小学生はお米を栽培。いずれも収穫だけでなく苗植えも体験してもらうことで、育っていく楽しさも伝えています。

もう1つは販売会を通じた前橋産農産物のPR活動。令和6年度から市役所ロビーやJR高崎駅など、市内



外で販売会を開催し、前橋産農産物の魅力を発信しています。このほか、研修や交流会を開催し、協議会員



同士の親交や農業の知識を深めています。

協議会長の山田さんは、「こどもたちが収穫した農産物をうれしそうに見せてくれたり、地域の人が私たちの活動を知って応援してくれたりするととってもがんばろうと思います」と言います。

今後は、協議会員が市内の小中学校を訪問し、農業にまつわる話をするすることで、こどもたちに農業の知識と興味を持ってもらう考え。また、販売会の開催場所を増やし、同協議会が届ける前橋産農産物の高い品質もより多くの人に知ってもらいたいと意気込んでいます。

